

論文：

田中靖久：手指の運動麻痺の局在診断．下垂指を中心に．脊椎脊髄 34：371-377，2021

田中靖久：頸部神経根症を正しく診断するためのポイント．脊椎脊髄 33：682-689，2020

田中靖久：頸椎椎間板ヘルニアによる強い上肢・肩甲部痛に対する治療法．日本医事新報 No. 4860：60，2017

田中靖久：T1 神経根症とその特徴的症候．脊椎脊髄 30：107-110，2017

田中靖久：頸部神経根症の手の症候－他疾患との鑑別点－．MB Orthop 29(10)：6-12，2016

田中靖久：頸部神経根症．今日の治療指針 2016 年版：1106-1107，医学書院，2016

田中靖久：頸椎疾患による上肢帯麻痺．脊椎脊髄 28：173-178，2015

田中靖久，他：骨粗鬆症性椎体圧潰後の麻痺に対する脊柱短縮術．骨粗鬆症患者の骨折治療：238-244，真興交易（株）医書出版部，2014

田中靖久：頸部の神経根症と脊髄症の特徴的症候．脊椎脊髄 27：51-55，2014

田中靖久：頸部神経根症．痛みの診療ベストプラクティス：34-35，メディカルレビュー社，2014

田中靖久：頸部神経根症．中村利孝監修．今日の臨床サポート．永井良三ほか編．エルゼビア・ジャパン，ウェブサイト：<http://clinicalsup.jp/jpoc/>，2013

田中靖久：頸部脊髄症．今日の治療指針 2012 年版：897-898，医学書院，2012

田中靖久：頸椎疾患由来の手の症候－他疾患との鑑別点－．現代鍼灸学 11：27-33，2011

田中靖久：頸部神経根症の手の症候－特に下垂指（drop fingers）について．脊椎脊髄 24：677-682，2011

田中靖久：頸椎疾患の手指のしびれ－他疾患との鑑別点．脊椎脊髄 24：447-451，2011

田中靖久，他：骨粗鬆症性椎体骨折後の遅発性麻痺に対する脊柱短縮術．J Spine Res 1：78-84，2010

田中靖久：頸部痛と肩こり－新発見と既成概念への疑問－．Modern Physician 30：227-231，2010

田中靖久：変性頸椎由来の頸部痛－神経根性頸部痛と既成概念への疑問－．整・災外 53：13-18，2010

田中靖久：頸部神経根症．今日の治療指針 2009 年版：778-779，医学書院，2009

田中靖久：頸椎症由来の頸部痛．医学のあゆみ 226：1097-1100，2008

田中靖久：腰部脊柱管狭窄症について－健脚を守るために－．日臨内科医会誌 22：351-358，2007

田中靖久：頸部神経根症に対する肉眼下の後方椎間孔拡大術．J MIOS No. 45：17-20，2007

田中靖久：高齢者の腰痛．老年医学 45：1007-1011，2007

田中靖久：頸椎椎間板ヘルニア．最新整形外科学大系、第 11 巻、頸椎・胸椎：264-272，中山書店，2007

田中靖久：頸部脊椎症（変形性頸椎症）．最新整形外科学大系、第 11 巻、頸椎・胸椎：273-277，中山書店，2007

田中靖久：頸部椎間板症、頸部椎間関節症．最新整形外科学大系、第 11 巻、頸椎・胸椎：278-279，中山書店，2007

田中靖久：馬尾腫瘍．今日の治療指針 2007 年版：739-740，医学書院，2007

田中靖久：頸部神経根症による下垂指（drop fingers）－その症候の特徴－．整・災外 49：1261-1267，2006

Tanaka Y, et al: Surgery for ossification of the ligamentum flavum. In: Yonenobu K, Nakamura K, Toyama Y, eds. OPLL. 2nd ed. Tokyo, Springer; 2006: 265-269

Tanaka Y, et al: Cervical roots as origin of pain in the neck or scapular regions. Spine 31: E568-573, 2006

田中靖久：頸椎椎間板ヘルニア．脊椎脊髄 19：485-491，2006

田中靖久：頸部神経根症治療成績判定基準．脊椎脊髄 19：300-302，2006

田中靖久，他：化膿性・結核性脊椎炎．整形外科専門医をめざすための経験すべき外傷・疾患 97：246-250，メジカルビュー社，2006

田中靖久，他：脊髄係留症候群に対する脊柱短縮術．臨整外 40：633-638，2005

田中靖久，他：骨粗鬆症性椎体圧潰後の麻痺に対する脊柱短縮術．骨・関節・靭帯 18：409-414，2005

田中靖久：中下位頸椎部の前方除圧固定術．整形外科術前・術後のマネジメント第2版：291-293，医学書院，2005

田中靖久：中下位頸椎の症候一神経根症、脊髄症の臨床的特徴と高位診断の指標．脊椎脊髄 18：408-415，2005

田中靖久：頸部神経根症による drop fingers（下垂指）．脊椎脊髄 18：578-583，2005

田中靖久，他：骨粗鬆症性椎体圧潰後の遅発性麻痺に対する脊柱短縮術．臨整外 40：497-501，2005

田中靖久：腰痛の疫学．CLINICAL CALCIUM 15：35-38，2005

Tanaka Y, et al: Lumbar spinal canal stenosis in an aging society: observations based on the registered cases of spinal surgeries for 15 years. WHO-Collaborating Center Monograph No.6 (Proceedings of the Fifth WHO-CC Symposium Sendai, October 8-9,2004): 1-6, 2004

田中靖久，他：胸椎後縦靭帯骨化症の除圧術直後の麻痺悪化例．厚生労働科学研究費補助金難治性疾患 克服研究事業、脊柱靭帯骨化症に関する調査研究、平成15年度総括研究報告書：80-86，2004

田中靖久，他：Kummell 病に対する後方進入脊柱短縮術．日整会誌 78：265-269，2004

田中靖久，他：下垂指（drop finger）を来す頸部神経根症．臨整外 39：475-480，2004

田中靖久：頸椎後方椎間孔拡大術．関連する解剖と術式．脊椎脊髄 17：432-437，2004

田中靖久：頸椎椎間板ヘルニア．今日の整形外科治療指針（第5版）：584-586,医学書院，2004

田中靖久：頸椎症性神経根症．今日の整形外科治療指針（第5版）：586-587,医学書院，2004

田中靖久：頸部神経根症と頸部脊髄症の診断：特徴的症候と高位診断．MB Orthop 16:13-20,2003

田中靖久，他：手術頻度からみた脊椎・脊髄疾患の変遷－14年間の手術登録から－．整・災外 46：391-398,2003

田中靖久：結核性脊椎炎．MB Orthop 15:125-129,2002

田中靖久：X線診断Q&A、C5神経根症．整形外科 53: 1327-1328，2002

田中靖久：頸部神経根症に対する後方椎間孔拡大術．脊椎脊髄 15: 575-580，2002

田中靖久，他：神経根性頸部痛．臨整外 37：385-389，2002

田中靖久，他：胸椎後縦靭帯骨化症に対する後方進入脊髄前方除圧術．脊椎脊髄 15：113-117，2002

Tanaka Y, et al: Trabecular domain factor and its influence on the strength of cancellous bone of the vertebral body. Calcif Tissue Int 69: 287-292, 2001

田中靖久：骨粗鬆症における骨梁構造と力．日本実験力学会、第1回バイオメカニクス分科会講演論文集：39-42，2001

田中靖久，他：組織像からみた椎間板ヘルニアの発生機序．脊椎脊髄 14：265-269，2001

田中靖久：専門医トレーニング講座／画像篇 [48]．臨整外 36：863-866，2001

田中靖久，他：頸部椎間板ヘルニアの保存的治療．整形外科有痛性疾患保存療法のコツ（上）：95-99，全日本出版会，2000

- 田中靖久, 他: 頰椎症性神經根症. 実地医家のための痛み読本: 167-171, 永井書店, 2000
- 田中靖久, 他: 化膿性・結核性脊椎炎. 整形外科専門医をめざすための経験すべき外傷・疾患 88: 233-237, メジカルビュー社, 2000
- 田中靖久, 他: 頰部神經根症と頰部脊髄症の症候による診断. NEW MOOK 整形外科 No.6 頰椎症: 30-38, 金原出版, 1999
- 田中靖久, 他: 頰部神經根症における障害神經根の診断. 脊椎脊髄 12: 761-765, 1999
- 田中靖久, 他: 頰部神經根症の手術. 脊椎脊髄 12: 791-796, 1999
- 田中靖久, 他: 骨折後の後弯変形に対する脊柱短縮楔状骨切り術. 新 OS NOW No3 脊椎外傷の手術療法: 138-143, メジカルビュー社, 1999
- 田中靖久, 他: 脊髄腫瘍の再手術. 整・災外 42: 1425-1432, 1999
- 田中靖久, 他: 超高齢者の脊椎手術—10年の手術登録にみる動向—. 整・災外 42: 391-399, 1999
- Tanaka Y, et al: Cervical radiculopathy and its unsolved problems. Current Orthopaedics 12: 1-6, 1998
- 田中靖久, 他: 頰部神經根症に対する椎間孔拡大術の改良とその成績. 東日本整災会誌 10: 488-493, 1998
- 田中靖久, 他: 下部頰椎の固定術. MB Orthop 11: 27-34, 1998
- 田中靖久, 他: 頰椎捻挫. NEW MOOK 整形外科 No.4 脊椎・脊髄損傷: 181-187, 金原出版, 1998
- 田中靖久, 他: 中下位頰椎部の前方除圧固定術. 整形外科術前・術後のマネジメント: 241-243, 医学書院, 1998
- 田中靖久, 他: 腰椎分離症および腰椎分離すべり症の成因、分類、臨床像. MB Orthop 10: 7-15, 1997
- 田中靖久, 他: 胸部椎間板ヘルニアの発生機序: 剖検例の組織学的検討. 脊椎脊髄 10: 479-483, 1997
- 田中靖久, 他: 頰部神經根症に対する保存的治療の成績とその予測. 整・災外 40: 167-174, 1997
- 田中靖久, 他: C8 神經根症の治療. 臨整外 32: 435-439, 1997
- 田中靖久, 他: 椎間孔拡大術 (神經根除圧術). OS NOW No21 頰椎・胸椎疾患の手術療法: 108-114, メジカルビュー社, 1996
- 田中靖久, 他: 上肢帯の筋萎縮をきたす頰椎変性疾患の脊柱因子. 整・災外 39: 117-123, 1996
- 他